

広島県尾道南高等学校 第2回学校評議員・学校関係者評価委員合同会議 会議録

本校の学校評議員・学校関係者評価委員合同会議を次のとおり開催した。

開催日時	令和5年10月16日	開催場所	長江公民館 会議室
出席委員	<p>人数：5人</p> <p>委員氏名（役職）[順不同・敬称略]</p> <p>岡田ひろみ（学校評議員 尾道市市議会議員）</p> <p>高坂 学（学校評議員 元尾道南高等学校長）</p> <p>中司 博之（学校評議員 尾道南高等学校スクールソーシャルワーカー）</p> <p>細谷 博美（学校関係者評価委員 尾道南高等学校PTA会長）</p> <p>杉田 眞一（学校関係者評価委員 尾道市長江公民館長）</p>		
会議の概要	<p>1 開会、校長挨拶、出席者紹介（校長）</p> <p>2 配付資料の確認、全体説明（校長）</p> <p>※本校参加者：中野尚人校長、小田康晴教頭、寺岡俊幸事務長、木村和也総務保健部主任、田辺康範教務主任、岡淳太郎生徒支援部主任、平理恵進路支援部主任</p> <p>3 自己評価シート（中間評価）について各分掌より説明</p> <p>(1)教務部 アセス等、教育的な支援の観点に立った授業やICT活用授業、さらには、発問や言葉かけの工夫を教員間で共有することで授業改善が進んだ。本務者と支援員の授業前の打合せにより、バランスよく生徒の学習支援を行うことができた。</p> <p>(2)進路支援部 キャリア教育講演会について、肯定的な評価が予想を大きく上回り、自分を見つめ直す良いきっかけとなった。就労、ボランティア活動を行う生徒の割合は増えているが、検定に挑戦する生徒が現時点で伸びていないため、今後の取組が急務となる。</p> <p>(3)生徒支援部 特別指導については、授業反省、放課後面談等を通じて、「今、何をしないといけないのか」といった自己指導能力の育成を図った。尾三定連合同運動会については、95%の肯定的評価が得られ、行事の満足度が高かったことが分かった。</p> <p>(4)総務保健部 ホームページの更新回数が41回（10/13現在）となり、学校行事の紹介が充実し、閲覧回数が増えている。校長の中学校訪問等、学校全体の広報活動が大幅に進んでいる。</p> <p>4 協議・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは飛躍的に更新されている。学校外とつながる仕掛けを多く設けている。できる限り継続してもらいたい。職業別講演会の時期の検討が、進路選択の変容にどう影響したか聞かせてほしい。行事への参加率は今年度62%（昨年度57%）と伸びていて、生徒会主体で企画しているところに意義を見出すことができる。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球部の県大会出場は喜ばしいことだ。</li> <li>・尾道市議会高校生議会の経緯を教えてほしい。       <ul style="list-style-type: none"> <li>－尾道南高では、昨年に引き続き、生徒会長が参加し、議員となって質問を行った。良い経験を積んだと思っている。高校生の居場所を尾道にどう作るか、高校生の視点で考えられた良い質問だった。</li> </ul> </li> <li>・先生方が、「よく来たね」と遅れながらも学校に来た生徒に声をかけていたのが、学校への肯定的評価の増加につながっていると思う。       <ul style="list-style-type: none"> <li>－仕事の都合で遅れてくる生徒もいるが、よく来ている。</li> </ul> </li> <li>・新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に変わった。公民館活動では、まだ以前のようにできていない部分があるが、この秋には尾道南高と和気あいあいと交流できればと考えている。運動会での肯定的な意見にはどのようなものがあつたか聞かせてほしい。       <ul style="list-style-type: none"> <li>－「綱引きをみんなとやれてよかった」等</li> </ul> </li> <li>・保護者の立場から、下校時間が遅いことがあり、事件事故に巻き込まれはしないかと心配である。       <ul style="list-style-type: none"> <li>－午後10時までは部活がある。その後は速やかに帰宅するように指導する。</li> </ul> </li> <li>・ここ数年、学校が内部から変わってきていることを感じている。やはり、対話の学びの重要性を感じる。授業改善の取組も学校全体で進めていて、教育的視点の工夫や改善の方法をよく似た形態の学校実践から学んではどうか。       <ul style="list-style-type: none"> <li>－ICTで学習支援を図り、動画も理解を助けるので取り入れている授業も多い。</li> </ul> </li> <li>・学校は、「わからないことがわかる」「できないことができる」のが学校の使命であると思う。この改善の取組をぜひ続けてほしい。支援員と本務者が効果的に連携を取っていけば、よりよくなるのではないか。生徒自身が尾道南高に誇りを持てるかどうか。オープンスクール等で生徒が表に立つような機会があるかどうかわからないが、校内だけでなく校外に向けても生徒が自己有用感を持てる仕掛けを今後期待する。</li> <li>・小学校の時から地域に係わる行事に参加している。コロナ禍で長くできなかった取組が、できるようになった今、南高祭を地域と一緒にやる、かかわりを新たに作ることは素晴らしいことだと思う。</li> </ul> <p>5 閉会挨拶（校長）</p>
次回開催予定日	令和6年2月（詳細は別途調整）